



湖西・新居の休耕地を市民に提供

湖西市新居町の住民が、休耕地を活用した市民農園「葉菜」を16日にオープンさせる。希望する市民に農地を配分して無農薬の野菜や花を栽培するほか、近くのビニールハウスではEM（有用微生物群）を利用した生ごみの堆肥化も行う。安全な農作物づくりと市民の交流に加え、目指すは生ごみ減量を積極的に推進する「エコ農園」だ。

農園を管理する地主 正田憲宏さん(77)は、10年以上前から生ごみリサイクル普及に取り組んでいる「EM活用ボランティア」そのノウハウを取り入れ、オーナーが持ち寄る生ごみを堆肥化する資機材もそろえた。ビニールハウスではEM菌と生ごみを密閉容器で発酵させ、1〜2週間ほどかけて作った良

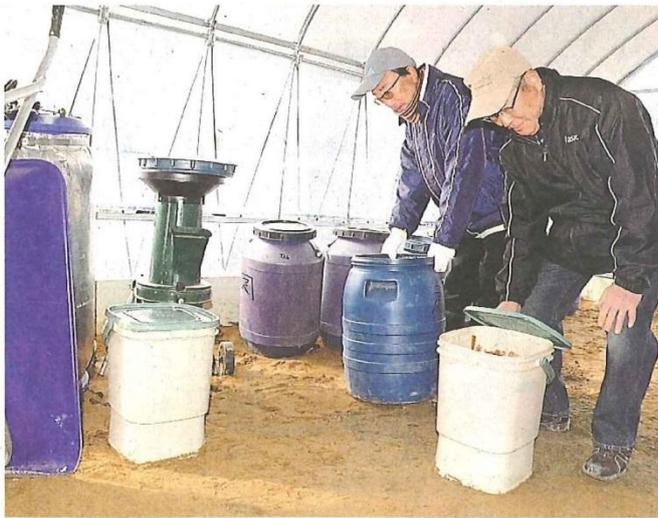
同市では、ごみステーションへ運ばれる可燃ごみの約半分が生ごみ。農園では将来的に、地域の人からも生ごみを持ち寄ってもらう予定で、正田さんは「ごみ減量の拠点になれば」と語る。テーブルなども置き、市民の触れ合いスペースや休憩所も設けるといふ。

生ごみ堆肥化「エコ農園」

「EM 倶楽部・湖西」(静岡県湖西市)代表の正田様が、市民農園をオープンし、3月5日付静岡新聞朝刊に掲載されましたので、紹介いたします。

この記事は静岡新聞のWEBページ (<http://www.at-s.com/news/detail/964015647.html>) や Yahoo ニュース (http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140305-0000008-at_s-122) でもご覧いただけます。

16日オープン 減量を積極推進



EMを活用した生ごみの堆肥化も行う市民農園「葉菜」湖西市新居町

農園は約1500平方メートルの土地を19区画に分け、オーナーになる市民が坪当たり年間3000円を支払って農作

業を行う仕組み。正田さんが地元の高須政二さん(66)とともに市の補助を受け休耕地を整備し、無料で使用できる耕運機などの農具や散水用井戸を用意した。オーナーは、農業指導員のアドバイスも受けられる予定という。



北浦(霞ヶ浦の一部)へ流入する銚田川の浄化に取り組む「西台虹の友(代表:市村はつゑ)」は、平成21年から鮭の稚魚の放流を行っていますが、昨年11月鮭の遡上が確認されました。写真は北浦の定置網にかかり水揚げされた鮭。このトピックスはWeb Ecopureの比嘉教授連載コラムに詳しく紹介されています。

<http://www.ecopure.info/rensai/teruohiga/vumenikiru81.html>

◆◆◆◆ イベント、講演会のご案内 ◆◆◆◆

- 善循環の輪 岡山の集い in 児島
【日時】4月26日(土)開場 10:00 【場所】児島市民交流センター ジーンズホール
【お問い合わせ】U-ネット事務局
- 善循環の輪 茨城の集い in 水戸
【日時】5月17日(土)開会 10:30 【場所】常陽藝文センター7階 常陽藝文ホール
【お問い合わせ】U-ネット事務局